

現場安全講習会@東大阪事業所

10月29日(水)初の試みである『現場安全講習会』を大阪安全衛生向上委員会主催で開催いたしました。協力会社7社の方々にご参加いただき座学形式で、三部の内容に分けて行いました。

●第一部：マナーモラル講習

現場でのマナーモラルを改めて考え見直すため、まずはじめにこのテーマで講習会をスタートしました。マナーとモラルとは？「法律に違反しているなどの明らかな違法行為とはいえないものの、物事の善悪などにおいて必要な判断基準」を指します。マナーモラル向上に取り組むことは、現場での風通しの良さや働きやすさに繋がり、現場環境の健全な発展に欠かせない要素です。事前にアンケートをとり、当日は委員で独自に作成したマナーモラルテストを受けてもらいました。内容は本当に当たり前なことばかりです。日常では「これぐらいは問題ないだろう」という甘えから、相手のことを考えていない発言や行動をとってしまいがちです。そういった行動の見直しを目的とし講習しました。目に見える注意喚起として、大阪安全衛生向上委員会では『マナーモラルを守る5箇条』を現場に掲げ、周知徹底していきたいと考えております。



マナーモラルを守る5箇条

- 一、楽屋は綺麗に使いましょう。来た時よりも美しく！
- 一、喫煙所確認。ルールをしっかりと守りましょう！
- 一、心に余裕を。人への声かけ、皆さん聞いています。
- 一、SNSでの情報漏洩は他方面に迷惑をかけます！
- 一、マナーモラルも「安全」につながります！

●第二部：安全技術講習：搬入/搬出/熱中症

現場に入り、まず行う作業は『搬入』、そして最後にする作業は『搬出』です。会場規模、場所によって異なるレギュレーションがあります。また、荷下ろしと荷積み作業は、手おろし作業、テールゲートによる作業、フォークリフトによる作業と、様々な方法があります。それぞれの作業に、違った危険性があり、その内容をひとつひとつ確認していく講習内容でした。そして『熱中症』については、熱中症になった際のフローを再確認する時間となりました。

●第三部：安全技術講習：現場作業

『アリーナチーフ現場作業の流れ』『リギング作業の基本』『リギング装備』『会場と製作物』『舞台用語』と項目を分けて直近の現場エピソードなどを交えながら講習しました。協力会社さんには見えない弊社の現場での動きを知ってもらうことができ、最後にテキストは回収しましたが、次回は配布して欲しいとの要望をいただきました。

現場安全講習会は、初心者の方には現場作業の初歩的な部分をわかりやすく周知すること、そして経験者の方には初心にかえり、現場の安全を守っていただくことを再認識する目的とした内容で講習しました。当たり前なことほど、わからないまま作業が進んでしまったりするので、現場講習会で確認できるよう続けていきたいと思えます。

11月の気象病

- *ノロウイルス/インフルエンザ
- *季節性うつ病
- *寒暖差による頭痛

11月は近年、急な気候変化で体調を崩しやすくなる時期です。寒暖差や気圧の変化は自律神経の乱れにも大きく影響を受けます。体調管理をするために必要なのが

インナー保湿



寒くなると水分補給を怠りがちです。体の約60%を占める水分は、栄養素の運搬や老廃物の排出、体温調節などに不可欠です。体内の水分不足は肌の乾燥だけではなく、思考力の低下や疲労感など様々な不調をまねく原因になります。体を冷やすことのない常温、白湯をこまめにとり、インナー保湿を心掛け健康な体を維持していきましょう。

